

# 西中 夢だより



Web <http://www.kaitanishi-j.ed.jp/> E-mail [kaitanishi-jh01@kaitanishi-j.ed.jp](mailto:kaitanishi-jh01@kaitanishi-j.ed.jp)

第30回体育祭

学校通信 5月号

発行 海田西中学校校長

## 『あきらめんな！まだ終わってねえぞ！』の価値



5月12日(土)本校開校以来30回目の記念すべき体育祭を絶好の体育祭日和のもと実施しました(翌日は大雨でしたから、本当に絶好でした)。来賓、保護者・地域の多くの皆様にご覧頂きました。生徒が最後まであきらめことなく各種目や演技、係り等の活動に取り組んでいる姿は、皆様に余すことなく披露できたと思います。しかし、姿に見えることだけではなく、



本校生徒が持っている(育んできた・身につけてきた)人柄にこそ真の価値があることに気づかされました。

「台風」のときでした。種目も終盤に差し掛かり、概ね勝敗の行方もはっきりしたとき、男子生徒の声が響きました **「あきらめんな！まだ終わってねえぞ！」**

他の場面においても、本校生徒から後ろ向きの言葉を聞くことはありませんでした。

**「さあ、行こう！」「がんばろう！」「いいぞ！」** などなど……

「みんなでジャンプ」のときでした。結果発表!(記録集計に誤りがあったようです)実際とは逆の結果が発表されました。「勝った!」と思っていた学級は不満な様子、ざわざわとし始めたそのときでした先頭付近にいた男子生徒がクラスのみんなのほうを見て、右手の人差し指を立て口の前に差し出しました。(静かにしよう!というジェスチャーに見えました)それを見たクラス全員が整列をきちんとし退場していきました。(その後、放送が流れ、勝敗は正しく訂正されました。)全力を出し切ったのですから、文句のひとつも言いたくなる気持ちも分かるのですが、仲間のジェスチャーひとつで切り替えることができたのです。



「クラス対抗全員リレー」特に3年生のゴールは考えさせられました。アンカーの4人はとっさにどのようなゴールが最もこの体育祭にふさわしいのかを考え、判断し、表現してくれました。(いろいろな意見があるかもしれませんが)私は、この4人の決断はすばらしかったと思います。3年生の取り組み姿勢やリーダーシップそして判断力や表現力、どこをとっても感動できる姿でした。

なぜなら、これらすべての西中生徒の言葉や行動は、これからの時代を生き抜いていくための資質・能力につながっていると思うからです。

### 〇うまいかないことや人の失敗を責めない生き方 チャレンジ精神

どんなことでも個人差があります。得意なことや苦手なこともあります。誰だって失敗します。大人になっても失敗します。西中の生徒は、うまくできなかった仲間を責めません。誰かの失敗を責めません。起きてしまったことにこだわって立ち止まることをしません。それより、次に「どうすればよいのか」を考え実行することに大きな価値を持っているのです。だから、西中の生徒はチャレンジし続けることができるのです。



われわれ大人になっても、起きてしまったことに心を奪われ、立ちすくんでしまうことはあります。本校生徒が見せてくれたように、前向きに物事を捉え、次に何ができるのか、どうすべきなのかを判断し実行したいものです。

体育祭に向けての練習も終盤となったある日、校長室で仕事をしていると、グラウンドからダンスを指導する声が聞こえて来ました。

**「いいよ!」「OK!」「笑顔でね!」**と肯定的評価の言葉が続き、指導内容も具体的で分かりやすいものでした。しかし、先生の声としては聞き覚えのない声だと思い、グラウンドに出てみると。そこには実行委員の生徒が学年全体を指導している姿がありました。最後まで丁寧で謙虚な言葉で、肯定的な評価(ほめ言葉)が続きました。難しい箇所ではまず自らが手本を見せ、具体的なコツを話した後、全体でやり、何と云っても必ず「よかったよ!」と肯定的評価が入ります。時には一人一人の近くまで歩み寄り、目を合わせながら声をかけています。(このような指導をされたら、私だって踊らずにはられないな!と思いながら見ていたのでした)



ダンスも得意な人がいれば、苦手な人もいます。苦手でも精一杯やりきろうとする西中の生徒はすばらしいと思います。そして、プラスαの努力をしていた実行委員の生徒が、うまくできない人がいても否定的な言葉は一切使わず、相手をやる気にさせる、元気にさせる言葉を投げかけ指導している姿は感動すら覚えました。これは男子のウォークライでも同様です。前向きな言葉、みんなをやる気にさせる言葉であふれているのです。(手前味噌ですが、本校の教職員が生徒の活動を大切にしながら、分かりやすい言葉を丁寧に使い、しっかり指導や支援をしている成果だとも思っています。)

否定的な言葉や、失敗した人やできないことを必要以上に責める言葉であふれている昨今。西中生徒の姿から、われわれ大人が学ぶことがたくさんあると感じているのは私だけでしょうか。

★周りの人を元気にする前向きな言葉が常に使える西中の生徒。

★さまざまな個性を認め、互いに大切にすることができる西中の生徒。

★起きてしまったことよりも、これからどうすべきかを考えようとする西中の生徒。

★周りの仲間を大切にすることが自然にできる西中の生徒。

すばらしい西中の生徒が育っています。

## お知らせ

来る6月23日(土)は参観日・PTAスポーツ大会にあわせて教育講演会を予定しています。

講師として

兵庫県立大学環境人間学部人間形成コース 准教授 竹内和雄先生

をお迎えして、スマートフォンの利用に潜む危険と利用する上で身につけておきたいことについてご講演いただきます。

言うまでもなく、変化の激しい時代を生きてく子どもたちです。ことさらスマートフォンをはじめとするICTの急激な進化は、われわれの生活にも大きな影響を与えています。中には事件やトラブルに発展することさえあります。このICTとどう向き合っていくのか。生徒と保護者と教職員、みんなで学んでいく機会としたいと考えております。ぜひご参加ください。

(※時間等、詳しい案内を後日配付します。)